

酒々井町

郷土研究会会報

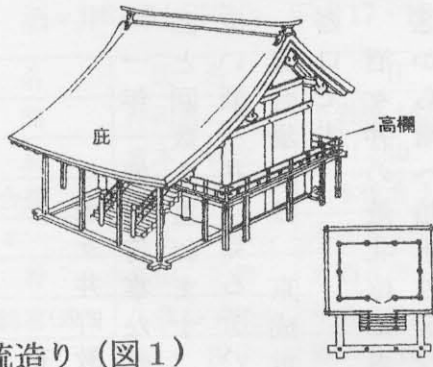
第116号

平成17年4月1日  
酒々井町郷土研究会  
広報部

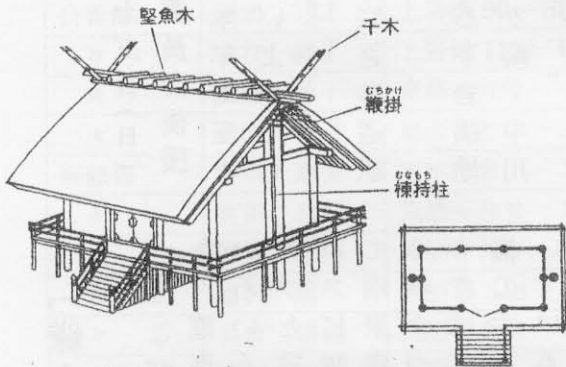
酒々井のオボスナ様

各地区に祀られている鎮守様を、オボスナ様(産土神様)またはウブスナ様とよんでいます。酒々井町には国生みの神様をオボスナ様として奉祀している神社があります。「古事記」に依れば、最初の夫婦神、伊邪那岐命と伊邪那美命は高天

原の神様の命令を受け、天の浮橋から矛を下界のどろどろしたところからさしこみ、かきまわして出来たオノゴロ島へ降りて宮殿を建て、ここでこの二柱の神様から生まれたのが、大八島の国(日本の古称)、そうしてその後、土の神、海の神、かぜの神、やまの神など三十五柱の神々が生まれたと伝えられています。



流造り (図1)



神明造り(図2)



(図3)

この国生み、神生みの神様、伊邪那岐命・伊邪那美命を奉祀しているのが上本佐倉の白山神社です。この白山神社は上本佐倉の西台地区の鎮守

様で、昭和五十五年九月に神殿が新築されました。酒々井町の神社は、流造りの神殿が多い中で、当町では珍しい神明造りの神殿です。

流造り(図1)は、最も多く用いられている形式で、側面から見ると左右不対称で、前側は母屋から庇にかけて屋根が水が流れるような形であることからこのようによびれます。

神明造り(図2)は、伊勢神宮を根元とする形式で、破風板がそのまゝ屋根上に長く突き出て、先端が千木となり、棟の上には堅魚木を並べています。必ずしも原則通りではありませんが、男神をお祀りする場合は、千木は外削ぎ(頂部を垂直にカット)、堅魚木は奇数。女神をお祀りする場合は、千木は内削ぎ(頂部を水平にカット)、図3、堅魚木は偶数となっています。

因みに白山神社は千木は外削ぎ、堅魚木は六本です。なお、墨の六所神社、伊篠の白幡神社も、伊邪那岐命・伊邪那美命を、酒々井上宿の八坂神社は、伊邪那岐命を奉祀しています。

(高木 正浩)

町内史跡めぐり

五月十五日(日)

酒々井町教育委員会後援

一年一度の行事ながら本年で三十分と回数を重ねます。狭いようでも広い酒々井は見る所いっぱい。集合場所は、京成電鉄宗吾参道駅西口です。

酒々井の最北位に当たる下岩橋地区から南へ柏木地区、トヶ崎、中川へと進み、築山まで歩きます。

中川の西蔵院境内公園、中川青年館にて休憩昼食を摂ります。

大仏頂寺・新光寺、大鷲神社、水神社にそれぞれある仏像、石仏、石塔、双体道祖神等地域の歴史、信仰風土を知る良い機会となるでしょう。



大佛頂寺古鐘

「鎌倉」を探訪して

寺本 恵美

そこびえがする曇り空の朝でした。電車に乗ると思い思いに座り、いろいろな話をしていると二時間はアツと言う間で鎌倉に着き、駅からバスに乗り大塔まで、そこから歩いて瑞泉寺へ、道幅が狭いのに車が多く歩きづらい思いをしました。瑞泉寺では、水仙は満開を過ぎていて、梅の木々は寒さのせいが一、二輪咲いているだけで、蕾の付きも少なく古刹の風情を感じました。

護良親王の墓は小山の上であり、直線の階段は手摺りもなく上るのが大変で一段一段足をあげるのがとてもきつく、やつと登り終わり、お墓に手を合わせたときは胸がドキドキでした。薄い青苔の階段は下るときの方が恐く、途中からは足ががたがたで、下り終わったときにはホッとしました。

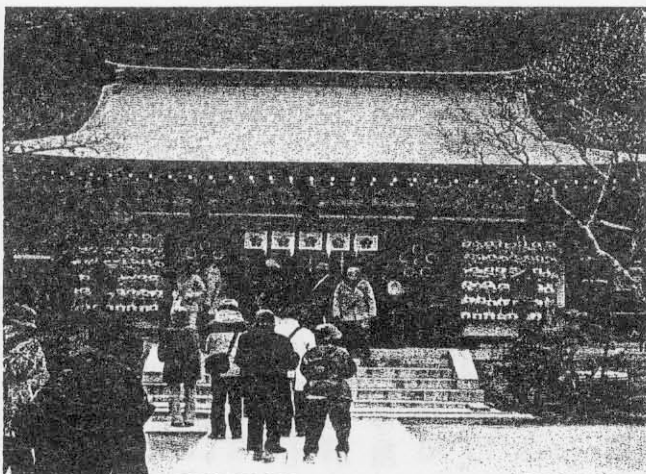
鎌倉宮は明治天皇が、護良親王の忠義を思い、お建てになった宮で、本殿の真裏にある土牢は、上から見ただけでも余りの深さにゾッとします。私達が、もしこのような所に一日でも入れられたら気が狂うだろうとおもいました。

荏柄天神は学業の神様を奉つてい

るので、今が一番賑やかで、甘酒の臭いのする境内は、紅梅がみごとに咲いていてきれいでした。

鶴岡八幡宮は今年のNHKの大河ドラマ「義経」の影響なのか昨年より混雑していました。公暁が隠れていたと言われる大イチョウも寒いせいか、元気がないようでした。ここなればいいなあと思いました。ここで解散で、お土産を買い家路につきました。寒い一日でしたが、酒々井に帰ってくると、雪のちらつく鎌倉は、とてもロマンチックでした。

「吉野山みねの白雪ふみ分けていりにし人のあとぞ恋しきしずやしずしずのおだまきくり返し昔を今になすよしもがな」 静御前



荏柄天神社

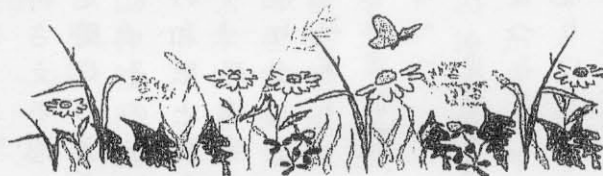
酒々井町郷土研究会 平成17・18年度役員・運営委員名簿

職名	氏名	住所	電話
顧問	沖田善三郎		
会長	青木 朝次		
副会長	上田 悦子		
々	高木 正浩		
会計	丸山 正義		
総務(兼)	久我かず子		
監事	筋 玉子		
々	櫻井 徳三		
会報部	岡田 利光		
々	木村 雍子		
々	佐藤 照子		
々	穂満 弘道		
研修部	寺本 恵美		
々	有田 政勝		
々	執行 正勝		
々	富沢 勝		
々	浜口 信義		
々	古川 好夫		
々	蓑輪 光正		
々	行武 政市		
総務部	福田 照子		
野草部	犬島 正子		
々	斉藤 ヨシ		
々	近田 トメ		

第二十九回定期総会報告

平成十六年二月一日午後一時より中央公民館研修室において第二十九回定期総会が開催されました。厳しい寒さの中でも当日は好天に恵まれ、五十七名の会員が出席されて、平成十六年度の事業報告および決算

報告、平成十七年度の事業計画案と予算案が審議・承認されました。運営委員については鶴岡知子・古川国雄・上野和子・矢野三雄・林芳子の各氏が退任され、新委員として古川好夫・穂満弘道の両氏が選任の上紹介され、総会を終了しました。



平成17年度事業計画

事業名		1期			2期			3期			4期		
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
定期総会	1	○											
会報発行	4	○			○			○			○		
講座・学習会	郷土史講座	1							○				
	町内史跡巡り	1				○							
	史談会	7	○	○		○	○	○		○			○
研修・見学会	古文書学習	8	○		○	○	○	○		○	○	○	
	県外見学会	1				○							
	県内見学会	2		○								○	
野草の会	名勝探訪	4	○				○			○			○
	七草粥食べる会	1	○										
役員会・運営委員会	野草観察会	2			○				○				
		5	○		○			○		○			○



七草粥を食べる会

白鷺老人クラブ

山内智香子



この度郷土研究会で早春行事のお誘いを受け友人十二人ほどで出席させていただきました。長年続いている行事で私が酒々井町に転居いたしまして二十数年になります。最初から入会し、当時は多少お手伝いも致しました。献立の一つ一つを皆さんと調理する喜びを感じたものです。

一年一度の講堂での会食会は盛会で百人近い郷土を愛する皆様との話し合い、そして七つの献立を前に味わう時の何とも言えぬおもいです。二時間の時を十二分に過ごし、幸いを感じ、本当に生きていることすばらしさと、まだまだ頑張りましょうと思う気持ちになります。役員の方々をはじめお手伝いくださる会員皆様には厚く感謝もうしあげます。

世代交代の様子が伺われ一層嬉しくぞんじました。二月の初めに七草を揃えることは容易ではありません。芹・薺・御形・繁縷・仏の座・菘・蘿蔔と日本の山野草で薬草として昔から使用されて

いた七草の重要な説明をしていただき、また幼き日に歌われました七草ばやし、『七草なずな 唐土の鳥と日本鳥と渡らぬ先に 何草はやす七草はやす ストントントントンの歌声はまたまた目頭を押さえる思いをしました。思い出が走馬灯のように浮かんでまいりました。その上に七草の古き歌人・俳人の和歌と俳句のしおりを出して下さり、恐縮致すばかりです。私の心に残りました古人の和歌と俳句を記してみます。

▽君がため春の野に出でて若菜摘む  
我が衣手に雪は降りつつ  
光孝天皇

▽春日野は年のうちには雪つみて  
春は若菜の生ふるなりけり

金槐和歌集 実朝

▽薺粥箸にかからぬ緑かな  
蝶衣

▽草の戸に住むうれしよわかなつみ  
久女

やさしく美しく強い心を味わい感動します。長々と思いのままを書きました。皆様にはいよいよご自愛の上、お過ごし下さいませ。有難うございました。

郷土研日誌

月日	内容	参加者	月日	内容	参加者
12・24	会報印刷	5	2・15	古文書を読む会	12
12・25	会報発送	16	2・16	臨時運営委員会	18
11・1	総会資料作成	5	2・19	研修部会	6
17・1・15	運営委員会	20	3・4	千倉方面	28
1・23	名勝探訪鎌倉方面	23	3・5	史談会	12
1・30	総会	57	3・8	運営委員会	19
2・3	七草粥買い物	9	3・11	会報編集	6
2・4	七草粥を食べる会	100	3・19	会報校正	5
2・5	史談会	16	3・22	会報校正	5
2・12	会報打合せ	4			

あとがき

十二月下旬のスマトラ沖地震による大津波が生々しく、国内でも例年より寒い日が続きましたが、ようやく春本番に入ってまいりました。

春の行事は野草観察・町内史跡めぐりのほか箱根早雲寺特別拝観とか隅田川を水上バスで浜離宮までなど盛りだくさんです。歴史と美の探究それとリフレッシュのため是非ご参加ください。



見学

案内



伊豆・萑山方面

五月十日(火)～十一日(水)

宿泊 松風苑

電話 0557-68-3151

新緑の色増す季節、NHKドラマ

「義経」に因み小田原から萑山に歴史探訪をします。坂東三十三観音霊場五番の勝福寺を皮切りに、中世の幕開けを告げた頼朝、政子、北条氏の間模様をたどり、掛け流しの湯宿、網代温泉の名旅館松風苑に宿泊。美術館で絵画など鑑賞して帰ります。皆様の参加をお待ちしております。

❖ 勝福寺(小田原市飯泉)

坂東五番寺飯泉観音(真言宗)で本尊は十一面観音。

❖ 小田原城(小田原市栄町)

平山城で鎌倉時代以来の館城。

明応四年北条早雲の居城として強化し、北条氏の本拠となった。昭和三十五年天守閣が復元された。

❖ 早雲寺(箱根町湯本)

臨済宗京都大徳寺派の古刹。北条早雲の菩提寺。特別に公開していただき拝観します。

❖ 江川邸(萑山町萑山)

清和源氏の流れを汲む土豪で江戸時代世襲の幕府代官の屋敷。住宅は国の重要文化財。

❖ 蛭ヶ小島(萑山町萑山土手和田)

源頼朝が十四歳で配流され二十年間流人生活をした場所。

❖ 願成就院(萑山町寺家)

北条時政が建てた寺。運慶作の木造阿弥陀如来像・木造毘沙門天立像・木造不動明王立像があり、いずれも国の重要文化財。真言宗。

❖ 松風苑(熱海市網代)

自家源泉で日本赤十字社・初代社長佐野伯爵の別邸であった。四千坪の庭園は見事。

❖ 石橋山古戦場(小田原市石橋)

頼朝が大庭景親と戦い破れ、海路千葉県の安房にのがれたという古戦場で佐奈田霊社がある。

❖ MOA美術館(熱海市桃山町)

世界救世教の教主岡田茂吉が創設した美術館で国宝美術品が鑑賞できる。

❖ アカフー「ハーブ&ローズガーデン」

今の季節、見事なバラの見頃、園の中には頼朝に因むところどころもあり歴史探訪もできます。

浜離宮方面

六月三日(金)

雨天代替 六月七日(火)

江戸の昔から変わらぬ賑わいを見せる浅草。左右の仲店を見ながら浅草寺へ、ここで今日の無事をお願いし、吾妻橋から花の名所で有名な隅田川を水上バスで下り、浜離宮恩賜庭園へ、ここは元將軍家の鷹狩場で、その後甲府浜屋敷または海手屋敷と呼ばれた所ですが、関東大震災や太平洋戦争で建物や多くの樹木が焼失しました。潮入りの池や鴨場などに往時の面影を残しています。また近くには旧芝離宮恩賜庭園もありますので、ゆっくりと散策して、家路に着きたいと思えます。

会計報告

七草粥を食べる会 (平成17年2月4日)	
参加者 94名	招待者 6名 計 100名
収入	会費 700円
	700円×94=65,800円
	祝儀 5,000円
	計 70,800円
支出	材料費 58,978円
	諸雑費 8,041円
	計 67,019円
残	3,781円(野草会計へ)
千倉方面 参加者28人	
収入	会費 2000円
	2000円×28=56,000円
支出	昼食代 44,100円
	諸雑費 5,185円
	49,285円
残	6,715円(郷土研会計へ)

## 郷土研行事案内

平成17年4~6月

	4月	5月	6月
史談会	4月 休講	5月 7日(土) 13:30 公民館会議室 「古今佐倉真佐子」⑰ 講師：高橋健一先生	6月 4日(土) 13:30 公民館会議室 「古今佐倉真佐子」⑱ 講師：高橋健一先生
古文書を 読む会	4月 19日(火) 13:30 プリミエール酒々井 多目的室 「島田家文書」⑰ 講師：青木朝次会長	5月 17日(火) 13:30 プリミエール酒々井 多目的室 「島田家文書」⑱ 講師：青木朝次会長	6月 21日(火) 13:30 プリミエール酒々井 多目的室 「島田家文書」⑲ 講師：青木朝次会長
野草観察会	4月14日(木) 雨天中止 (問合せ 8:20~8:50 犬島 ) 集合時刻・場所 9:25 中央公民館 観察場所 西井戸方面 観察後中央公民館にて昼食・勉強会 参加費 100円 弁当・飲み物各自持参 講師：亀井 香久乃 氏 14:00解散予定		
県外見学会	「伊豆・韮山方面」 5月10日(火)~11日(水) 申込受付;4月8日(金) 9:00~10:00 定員45名 中央公民館ロビー 集合時刻・場所 7:00出発 中央公民館 参加費 20,000円 宿泊先 網代温泉松風苑(電話 0557-68-3151) 5/10 公民館-勝福寺-小田原城-昼食-早雲寺-蛭ヶ小島-江川邸- 政子の産湯井戸-願成就院-網代温泉松風苑(泊) 5/11 松風苑-熱海錦ヶ浦-ハーブ苑-MOA美術館-昼食-石橋山古戦場- 酒々井 19:00頃 着予定 (一部コース変更の場合有り) 皆様のご参加お待ちしております。 キャンセル実施日5日前迄 寺本		
町内 史跡めぐり	「下岩橋・中川方面」 5月15日(日) 雨天中止 集合時刻・場所 9:00 京成宗吾参道駅西口 参加費 100円 弁当・飲み物・敷物各自持参 宗吾参道駅-大仏頂寺・八社神社-七社神社-下岩橋双体道祖神-新光寺 -大鷲神社-中川青年館(昼食)-西藏院-水神社-築山 (約8km) 解散予定 15:00ごろです。 (一部コース変更の場合有り)		
名勝探訪	「浜離宮方面」 6月3日(金) 雨天代替 6月7日(火) 集合時刻・場所 8:20 京成酒々井駅 京成酒々井駅-浅草橋駅-浅草寺-吾妻橋~(水上バス)~浜離宮 浜離宮で解散します (自由昼食) (一部コース変更の場合有り) 雨天時の連絡は 寺本 ( )		